

# 夕張スーパーダム建設事業が「平成26年度全建賞」を受賞

夕張スーパーダム建設事業が、平成27年6月26日に東京の市ヶ谷で開催された 全日本建設技術協会の平成26年度全建賞を受賞しました。

その報告として7月6日夕張市役所に伺い鈴木夕張市長に「表彰状と楯」を披露し、受賞理由等について高橋事務所長から話題提供しました。

## 【全建賞の紹介】

「全建賞」とは、建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を選考し、これを実施した機関を表彰するものです。

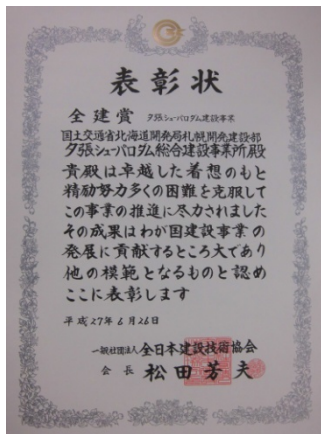
## ◎夕張スーパーダム建設事業の評価内容

既設大夕張ダム及び直下の発電所を運転しながらの施工となるため、155m下流に新堤体を構築し、総貯水容量全国4位、湛水面積第2位となる全国最大規模の再開発事業であること。

積雪寒冷地で旧ダム機能を維持しながら新堤体の施工を行い、新旧ダムに挟まれた狭隘な場所で旧施設撤去し、旧ダム容量をできる限り満水状態で試験湛水を開始する等、工程・工法を工夫しての完成であること。

また、コスト縮減方策として、連続サイフォン式取水設備を採用、コンクリート骨材には低品質な骨材を良質な骨材と混合して有効活用を図ったことなどが評価され今回の受賞となりました。

## 「表彰状」



## 「楯」



☆平成26年度全建賞表彰式の様子(平成27年6月26日)



★鈴木直道夕張市長に受賞報告の様子(平成27年7月6日)

